

5/14

企業版ふるさと納税 日鉄日立システム ソリューションズ(株)



日鉄日立システムソリューションズ株式会社（東京都中央区）より企業版ふるさと納税による寄附をいただき、執行役員営業統括本部長の渡部英二様（わたべ えいじ）に町産材を使った木製の感謝状を贈呈しました。寄附金は大林山の町有地に杉を植える費用に使い、豊かな森林環境の保全に役立っています。渡部様は「環境保全に力を入れる自治体を支援したく、日南町の素晴らしい取り組みに共感した。植樹地をぜひ訪ねてみたい」と話されました。

5/13

こども園きりん組 鮎放流



認定こども園にちなん十色のきりん組さんが、今年も日野川に鮎の稚魚（みづな）を放流しました。はじめに日南の水を守る会の水谷秀樹（みづたに ひでき）会長と日野川漁協の福田一哉（ふくだ かずや）副組合長があいさつし、園児たちはバケツで少しずつ川へ。最後は運搬車の水槽から放流。川の冷たさや鮎の動きに、子どもたちは目を輝かせていました。7月には園にミニプールを出し、つかみ取りや塩焼きも楽しむ予定です。これからも自然を大切にしながら、命の尊さを学んでいきます。

5/20

アイガモロボ製品版に



昨年度の実証実験を経て改良されたアイガモロボが製品版として登場し、この日入水式が行われました。アイガモ農法に着想を得たロボットは、左右のスクリューで土を攪拌し田んぼを濁らせて雑草の発生を抑制します。式では多くの関係者が見守る中、水田を管理するノータス研究所の三上滉斗（みつかみ あきと）さんと農研機構の浅見秀則（あさみ ひでのり）さんがロボットを入水させました。改良版はスクリューの形状や素材を見直し、耐久性を大幅に高めました。

5/16

看護フェアで 新たな取り組み



看護週間（5月12日～18日）にあわせ、日南病院では恒例の看護フェアが行われました。玄関では三井看護師（みつい かなべ）、渡邊看護師（わたなべ ながあ）、長尾看護師（ながお）の3人が、パンフレットやティッシュ、マスクなどを入れた袋を笑顔で来院者に手渡し、看護の大切さや役割を丁寧に伝えました。今年はアロマオイルを使ったハンドマッサージの体験ブースも登場し、「とてもリラックスできた」「癒やされた」といった声が寄せられ、好評でした。

